



からしだねの由来 マタイ 13 章 31 節、マルコ 4 章 30 節、ルカ 13 章 18 節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南 1 丁目 35-3
〒807-0025
TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354
第 447 号

エクス・アン・プロヴァンスでの体験

ロザイロ・ブラッドリー 神父

ド・マゼノ・エクスぺリエンス (De Mazenod Experience) は、毎年エクス・アン・プロヴァンスにある私たちの修道会の発祥の地で行われるプログラムです。このプログラムは、オブレート会の創立者である聖ウジェーンのカルスマに基づいており、いくつかの目的があります。それは個人的な回心、自分自身の生活におけるオブレート会のカルスマの深化、カルスマの生きた経験についての考察、オブレートの召命における個人的な刷新、創立者についてのより深い理解、そして継続的な養成です。祈り、内省、友愛の分かち合いの雰囲気の中で行われる 2 ヶ月間の体験は、オブレート会員が日常生活と宣教の中で生きた修道会のカルスマについて、自分自身の体験を振り返ることを可能にします。このプログラムには、巡礼と 15 日間の黙想会という 2 つの柱があります。

修道会の発祥の地での刷新プログラムに従うことは、すべての会員の心に特別な位置を占めています。昨年 (9 月 11 日～11 月 7 日) 私は修道会のカルスマを体験するためにそのプログラムに参加しました。参加者はファシリテーターを含めて 10 人でした。数は少なかったものの、グループは文化も言語も多様で、7 カ国の国籍がありました。このことは、私たち修道会の国際性を思い起こさせました。

私は養成の最初の数年間、創立者について学びましたが、司祭になってからは、彼の生涯について本格的に本を読むことはありませんでした。しかし、プログラムの間、私が聴いた



話は私の記憶を蘇らせ、聖ウジェーンの生涯についての新たな洞察を発見するのに役立ちました。

例えば、今日のマルセイユ中央駅であ

幼稚園から・・・・・・・・・・3 面
教会学校のページ・・・・・・・・4 面
小教区委員会報告・・・・・・・・5・6 面
お知らせ・・・・・・・・・・6 面

〈プロヴァンスにあるフランスの最も美しい村のひとつ・ゴールド〉

るサン・シャルル駅の建設に、創立者が重要な役割を果たしたことは知りませんでした。この駅は1848年1月8日、マルセイユ大司教であったマゼノによって起工されました。私は、創立者のお気に入りの場所のひとつが魚市場で、そこで魚屋の女性たちに出会ったことを知りました。彼女たちはマズノと親しくなり、後に彼は女たちのリーダーとなり、信仰に引き戻す役割を担ったと言われています。

創立者のカリスマに基づいたプログラムの中で私が最も気に入ったことのひとつは、聖ウジェーンの人生において重要な場所を巡礼したことであります。いくつか挙げれば、1818年に私たちの修道会の規則の最初の草案が書かれたサン・ローラン・デュ・ヴェル



〈創立者のお墓〉

ドン、マリア様出現の祠とオブレート会の伝道所であるノートルダム・ド・リュミエール、グラン村の最初の教区伝道所、バルジョルの伝道所、マルセイユ大聖堂の創立者のお墓への訪問です。時間をかけてこれらの場所を訪れ、仲間とともに祈り、ミサを捧げることで聖ウジェーンの思い出が生き生きとよみがえりました。

プログラムのクライマックスは、美しい自然の中にあるノートルダム・ド・サント・ガルドで行われた2週間のイグナチオ式黙想会でした。オブレート会のボンガ神父の靈感に満ちた指導のおかげで、スピリチュアル・エクササイズに集中することができ、聖句や創立者の黙想だよりも思いを馳せることができました。長い時間を経て、よりリラックスした雰囲気の中で静かな黙想会ができたことを嬉しく思います。

オブレート会の創立者やカリスマ、そして修道会のルーツなどに立ち返ることは、私をよりオブレート会員に包まれた気持ちにさせ、召命に喜びをもたらしてくれました。ド・マゼノ経験は、私が楽しみにしていたものであり、修道会の「聖地」でそれを生きられたことを嬉しく思います。一生に一度はこの経験をするを強くお勧めします。アメリカで始ま



〈派遣ミサ〉

った私のサバティカルは、エクス・アン・プロヴァンスで総長による「宣教師派遣」のための特別ミサで幕を閉じました。とても美しく意義深い典礼の終わりに、参加者一人ひとりが創立者の十字架によって祝福されました。聖ウジェーンの足跡を2ヶ月間たどり、私たちは新たな人間としてそれぞれの宣教地へ送り返されました。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 9月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉



毎日暑い日が続いていますが、幼稚園では7月22日から夏休みの預かり保育が始まり、長い夏休みも残り2週間となりました。子ども達は元気に登園をしています。夏ならではのカブトムシやクワガタムシを捕まえて、楽しそうに観察をしたりお世話をしたりしている子ども達です。夏休みは時々体を動かしたりお昼寝もしたりしており、横になって身体をしっかりと休めながら過ごしています。まだ暑い日が続きますが、二学期も元気に過ごしていけたらと思います。



TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



今年は梅雨が短くて、あっという間に猛暑になったので、戸外遊びがあまり出来ませんでした。そんな中、気温が上がる前の朝の早い時間からテラスで水遊びが始まりました。上から水を入れて水車を回したり、水鉄砲や金魚すくいなどをしたり……。月齢の低い園児は、タライの水を繰り返しバケツに移していました。又、ジョウロやバケツで、朝顔やフウセンカズラ等に水やりをして楽しんでいます。プランターに植えた枝豆が大きく実って、収穫しました。子ども達が水洗いをした後、蒸して昼食の時間にいただきました。実がふっくらとしてほのかに甘くて美味しかったですよ！暑さに負けずに、オクラやゴーヤも育っています。



TEL : 050 5212 7759

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

教会学校のページ



7月20日 デイキャンプ報告

7月20日、日曜日。鞍手の室木小学校で5教会合同プール遊びをしました。

今年は直方、田川、飯塚、新田原、水巻教会の子ども達と保護者総勢80名参加。午後13時から15時までプール遊びを楽しみ、終了後直方教会に移動して神父様からのお話し、各教会子ども達の自己紹介。スイカ割り等を楽しみその後食事会をしました。

直方教会の方々にたくさんの料理を用意していただきました。感謝です。

その後河川敷に移動し花火大会をして終了になりました。

ふだん他の教会の人達と会う機会もなかなかない事なので、有意義な一日でした。また来年も会える事を楽しみにしています。



委員会等報告

2025年7月分

8月度小教区委員会 8月3日

1. 行事予定

- ・9月 7日(日) 9時半～ミサ
ミサ後～二野宮 賀子ミニコンサート、
小教区委員会は休み
- ・9月 14日(日) ミサ後～敬老のお祝い、
教会学校
- ・9月 21日(日) 9時半～ミサ
18時～ベトナム語ミサ
- ・9月 28日(日) 9時半～ミサ
ミサ後～こころの会、教会学校、役員会
- ・10月 5日(日) 小教区委員会

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

①広報委員会

- ・特になし

②典礼委員会

・8月10日の平和祈願ミサの内容につき打ち合わせした。

- ・共同祈願の後の応唱は歌うこととする。

③総務委員会

- ・特になし

④財務委員会

- ・特になし

⑤営繕の部

・リモートミサ(信徒会館1Fにミサの映像を配信し、ミサにあずかれるようにする)用の機材準備中。配信できることは確認済み。設備が整ったらお知らせする。

⑥納骨堂管理の部

- ・特になし

⑦冠婚葬祭の部

- ・特になし

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・宣教司牧評議会の典礼委員が決まっていなかったが、対馬 須美江さんに引き受けていただいた。

(2) その他

①敬老のお祝い

・地区委員が地区ごとに出席者を確認する。8月中に傍士委員長に連絡のこと。
・敬老会の内容については、役員会に一任する。

②巡礼旅行

・34名の希望者があったので大型バス(定員50名程度)の手配が必要。日程、行き先が決まれば追加募集する。日程は 第一候補 11月3日(月)、第二候補 11月24日(月)の日帰りとする。聖年の巡礼教会である久留米教会でミサをあげることを主目的として計画する。

③二野宮 賀子(にのみや よりこ)ミニコンサート

・戸畑教会出身。今は東広島在住の音楽家。現在は、教会の聖歌隊指導などの活動も展開している。

・「歌には、賛美や祈りの気持ちを伝える力がある」ということを感じていただきたい。

・9月7日(日)ミサ後に開催。時間は1時間程度。謝礼は2万円とする。

④聖歌の表示板製作

・聖歌集を事前に準備できるよう、ミサで歌う聖歌を全て掲示できる表示板を製作する。

⑤司教様のメッセージを受けてのフォロー

●1年目の振り返り 「互いに支え合う交わりの教会」

・直方教会との合同巡礼旅行。子どもたちの合同キャンプといった実りがあった。

・抱僕の炊き出しを手伝う人が増えてきた。弁当作りだけでなく、弁当の手渡しにも活動を広げたい。

・ベトナムの青年たちのキャンプに日本人信徒も参加した。

・ミサ後の掃除に取りかかる前に一度集まってから始めるようにしてから、協力者も増え、一致の気持ちが芽生えてきたように感じる。

・久しぶりに会った人に声掛けするなど、小さな行動の積み重ねを大切にしてきた。

●2年目の取り組み 「未来に開かれた教会となる」

・次回小教区委員会で議論する。委員だけでなく、信徒全員が関心を持ち、参加するようにしていきたい。

⑥ミサの準備と片付け

・聖具は聖別された特別なもの。また祭壇布などの道具類が正規の場所になく、探し回ったこともあり、責任者を明確にする必要がある。一方、分かっている人が1~2名しかいないことも課題。3~4名のチームで担当する体制が望ましい。今後のあり方を検討していく。

⑦9月16日~10月20日 ブラッドリ
一神父様休暇

ミサの時間が変わる可能性もあります。



★各募金の中間報告★

第9回目の送金を7月25日に行いました。

ガザ人道支援 46,550円

ミャンマー地震支援 48,530円

ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

★敬老お祝い会★

日 時：9月14日(日)ミサ後

場 所：水巻教会

今年も、敬老のお祝い会を、信徒会館で行います。みんなでお祝いしたいと思います。お手伝いできる方は、ご協力ください。

★二野宮賀子コンサート★

日 時：9月7日(日)

ミサ後~12時頃まで

場 所：聖堂

二野宮賀子さんは戸畑教会出身で、今は東広島在住の声楽家です。現在は、教会の聖歌隊指導などの活動もしています。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

★ディエゴ加賀山隼人殉教記念ミサ★

日 時：10月12日(日) 15時~

場 所：小倉教会

司 式：アベイヤ司教

多数の参加をお願いします。